

経産省：高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金

※【住宅省エネ2023キャンペーン 給湯省エネ事業】後継事業 補正予算案額:580億円

本資料は、令和5年度補正予算案の閣議決定資料を基に作成しております。

補助事業の実施は国会での予算成立が前提となり、本ステップアップNEWS内の情報は公募時には変更される可能性がありますのでご留意ください。追加情報あり次第後報いたします。

ダイキンのエコキュートの対象機種種の導入で 最低10万円/台(Aの場合)の補助金を受けられます！

『高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金』とは？

家庭の最大のエネルギー消費源である給湯器を高効率化させ、エネルギーコスト上昇への対策を図ることを目的とした補助金。加えて昨今、①再エネ拡大に伴う出力制御対策や②寒冷地において高額な光熱費の要因となっている設備を一新する必要性が高まっているため、これらに資する対策を重点的に措置する。

◆補助金の対象給湯設備

	ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	ハイブリッド給湯機	家庭用燃料電池 (エネファーム)
対象となる家庭		(限定なし)	
エネルギー源	電気	電気・ガス	ガス
特徴	圧縮すると温度上昇し膨張すると温度が下がる、気体の性質を利用して熱を移動させるヒートポンプの原理を用いてお湯を沸かし、タンクに蓄えるもの。	ヒートポンプ給湯器とガス給湯器を組み合わせでお湯を作り、タンクに蓄えるもの。 二つの熱源を用いることで、より高効率な給湯が可能。	都市ガスやLPガス等から作った水素と空気中の酸素の化学反応により発電するとともに、発電の際の排熱を利用してお湯を沸かし、タンクに蓄えるもの。
主な補助額	10万円	13万円	20万円
商品イメージ	 参考：ダイキン	 参考：リンナイ	 参考：アイシン
追加措置	蓄熱暖房機*1、電気温水器を撤去*2する場合 +10万円(蓄熱暖房機) + 5万円(電気温水器) *1:蓄熱レンガを電気で温め、放熱することで部屋を暖める器具。 *2:2代わりの暖房機の購入が必要になる可能性があります。		

◆ヒートポンプ給湯機の支援対象

- 省エネ法上のトップランナー制度の対象機器である「エコキュート」
- 上記エコキュートのうち、**2025年度の目標基準値を満たす製品**
ただし「おひさまエコキュート」は基準に関わらず支援対象

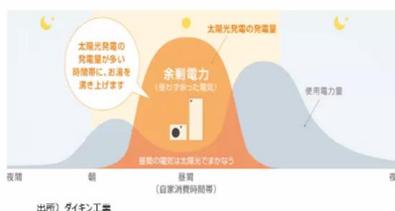
ヒートポンプ給湯器（エコキュート）の省エネ基準

2025年度目標の区分				仕様	2025年度 目標基準値
区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量		
A	少人数	-	-	一般地	3.0
B				寒冷地	2.7
C				一般地	3.1
D				寒冷地	2.7
E	標準	一缶	320L以上 550L未満	一般地	3.5
F			寒冷地	2.9	
G	多戸	-	550L以上	一般地	3.2
H				寒冷地	2.7
I				一般地	3.0
J				寒冷地	2.7

おひさまエコキュート

(太陽光発電の余剰電力を活用したヒートポンプ給湯器)

- ✓ 太陽光発電の電気を活用することで、利用者は、**光熱費の削減**が可能 (条件によっては、太陽光パネルの貸与も可能)
- ✓ 電力会社は、おひさまエコキュート専用の電気料金プランを提供。
- ✓ 日本全体では、**カーボンニュートラル、電気需要最適化にも貢献**。



◆補助額

- ※A：インターネットに接続可能な機種で、翌日の天気予報や日射量予報に連動することで、昼間の時間帯に沸き上げをシフトする機能を有するもの
- B：補助要件下限の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ないものとして、a又はbに該当するもの
(a.2025年度の目標基準値 (JIS C 9220 年間給湯保温効率又は年間給湯効率 (寒冷地含む)) +0.2以上の性能値を有するもの、又は、b.おひさまエコキュート)

	ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	
補助額	基本額	8万円/台
	A	10万円/台
	B	12万円/台
	A&B	13万円/台

機器の導入に加えて、以下を実施

- 高効率給湯器の導入と併せて蓄熱暖房機、電気温水器を撤去する場合

	蓄熱暖房機	電気温水器
加算額	10万円/台 (上限2台まで)	5万円/台 (上限2台まで)

エコキュート→エコキュートの更新も対象です。

さらに、例えば電気温水器を撤去し対象のダイキンエコキュートを導入すると
10万円+5万円=15万円
の補助が出ます！

◆ダイキンエコキュート対象機種予定 (X型) 決定後後報

※2025年度の目標基準値を満たす製品 (一般地の場合 角型：APF3.5以上、薄型：APF3.0以上)

- | | |
|--|---|
| フルオートタイプ | 給湯専用らくタイプ |
| EQX46XFV(E)(H) / EQX37XFV(E)(H) / EQ37XFHV(E)(H) | EQX46XV(E)(H) / EQX37XV(E)(H) / EQXN46XV(E)(H) / EQXN37XV(E)(H) / EQ37XHV(E)(H) |
| EQX46XFTV(E)(H) / EQX37XFTV(E)(H) / | おひさまエコキュート EQ46WFPV/EQ37WFPV / EQ46XFPV/EQ37XFPV |

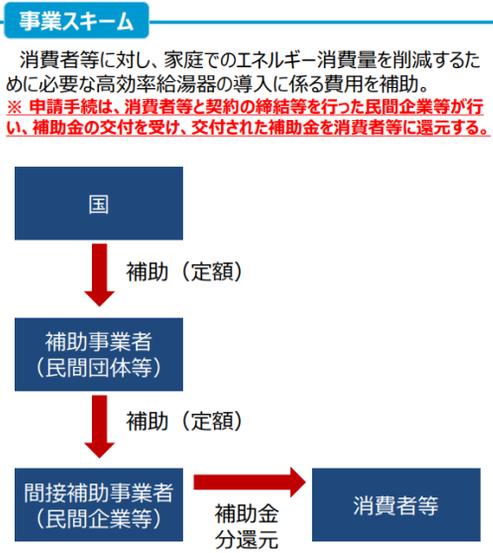
※W型についても対象となるが、Aは対象外

タンク形態	仕向け地	圧力	機能	現行モデル		2025年目標基準値	補助対象可否			
				機種名(総称)	APF		基本	A	B	
角型	一般地	高圧	フルオート	EQX46XFV	3.5	3.5	○	○	-	
				EQX37XFV	3.6		○	○	-	
			フルオート	EQ46XFV	3.3		-	-	-	
				EQ37XFV	3.3		-	-	-	
				EQN46XFV	3.3		-	-	-	
				EQN37XFV	3.3		-	-	-	
		高圧	オート	EQ46XSV	3.2		-	-	-	
				EQ37XSV	3.2		-	-	-	
			給湯専用	EQX46XV	3.5		○	○	-	
				EQX37XV	3.6		○	○	-	
			給湯専用	EQ46XV	3.2		-	-	-	
				EQ37XV	3.2		-	-	-	
				標準圧	EQXN46XV		3.5	○	○	-
					EQXN37XV		3.6	○	○	-
給湯専用	EQN46XV	3.2	-	-	-					
	EQN37XV	3.2	-	-	-					
薄型	一般地	高圧	フルオート	EQ46XFHV	2.7	2.9	○	○	-	
				EQ37XFHV	2.9		○	○	-	
			給湯専用	EQ46XHV	2.7		-	-	-	
				EQ37XHV	2.9		○	○	-	
			フルオート	EQX46XFTV	3		○	○	-	
				EQX37XFTV	3		○	○	-	
		フルオート		EQ46XFTV	2.8		-	-	-	
				EQ37XFTV	2.8		-	-	-	
角型	一般地	高圧	フルオート	EQ46WFPV	3.4	3.5	○	-	○	
				EQ37WFPV	3.4		○	-	○	
			おひさま	EQ46XFPV	3.4		○	○	○	
				EQ37XFPV	3.4		○	○	○	

ダイキンエコキュートは条件Aであるインターネット接続に別売品無しで対応可能です！

◆事業スキーム

本事業より「間接補助事業者（販売店）から消費者に支払い」に変更。
(前年度：補助事業者から消費者に支払い)



W型のおひさまエコキュートは天気予報連動の機能が無いため、条件Aは対象外となりますのでご注意ください

◆スケジュール

2023年11月2日以降に契約。
住宅省エネ2023キャンペーンの給湯省エネ支援事業者に登録事業者は事務局開設(2023年12月中旬頃)以降に着工可能。
申請・完了報告期限は2025年2月末予定。

◆経産省HP↓下記URLに順次情報が更新されます！

<https://www.meti.go.jp/press/2023/11/20231117004/20231117004.html>